

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		TODAY'S KIDS		公表日 2025年2月25日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	部屋が複数あり周りの音が気になる児童は2階をつかう事で、落ち着いて過ごすことが出来ている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	送迎や宿題の見守り、活動等も問題なく行うことが出来ている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	階段には手すりがついている。車いすの児童が室内に入る為のスロープを用意している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	活動終了時に整理整頓、清掃・消毒を行っている。必要に応じて活動に必要なものを出している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	1階に2フロアあり2階に1フロアあり感染症対策やクールダウンなど必要に応じて使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	毎日全体ミーティングを行い支援方法について話し合いをしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	回答していただいたものを全職員に周知把握してもらい可能な範囲で取り入れている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	活動後や職員間で気になったことを話し合い改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	第三者による外部評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	定規定に参加させてもらっている。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	プログラムは作成されているが公表されているかは分からない。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	保護者との面談を元に保護者や子どものニーズや課題を取り入れ支援計画の作成を行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	職員会議を行い子どもの現状と課題を話し合いを行い、それに基づいて検討されている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	計画作成後は全職員に周知し統一した支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	チェックシートを活用し子どもの現状を把握している。モニタリングも行い日々の行動観察も行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	体制が整っている場合などにここに必要な支援をどのように行うかを共有した上で設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	リーダーが計画を立てその都度ミーティングを行っている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	週ごとにリーダーを変え固定化しないようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	臨機応変な対応を取っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	朝のミーティングや追加内容等あればその都度共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	時短の職員もいる為その日だけでなく翌日も共有し振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	共有振り返り後に改善策を上げ次の支援に取り組んでいる。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1	モニタリングの毎日記録しており3ヶ月に1度個別支援計画の見直しもしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	常に気になったことや必要だと思う事も共有し活動に取り入れている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	自己選択できるような声掛けを行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児童発達支援管理責任者が会議に参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	3	保護者を通して連携しているところもある。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	年間行事予定をもらっており、急な予定変更等は学校又は保護者を通じて連絡をもらっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	直接の共有が難しい場合は相談員や紙面での情報を共有するなどして対応している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2	卒業時の該当がない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4	地域の児童発達支援センターとは関わりを持ったことがない。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	交流の機会はない。	地域の行事等で参加出来そうなものがあれば検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	5	参加していない。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時お申し送り連絡ノートや面談等で日頃から情報共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	5	こちら側が助言を行う事はあるが、研修などは設けていない。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に児童発達支援管理責任者から説明をしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	面談を実施し保護者や本人の意向を確認する機会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	面談を実施し都度支援内容の説明同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	送迎時に頂いた内容は児童発達支援管理責任者に相談しその後電話対応や送迎時に助言等を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	3	保護者や兄弟同士での交流の場は設けていないが、BBQを通じて家族交流を行っている。	保護者の場を設けて行き、保護者同士の交流の場を提供していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	苦情対応の体制は設備されているが保護者への周知は不明。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	2	写真入りのお便りを年に数回出している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報同意書の記入を行い、最近の注意をはらっている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	学校やご家庭、事業所で共通のジェスチャーを作っていき意思の疎通を図ったりなどしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	行事と等の開催は難しいが近隣住民への挨拶など行い少しでも理解してもらえよう努めている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	マニュアルを策定し訓練は行っているが保護者への周知は不明。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	地震などの災害の際に避難場所や確認避難方法を確認し、実際に避難訓練も行っている	1年を通して実施していない曜日が存在する為、全曜日での動きを職員内で共有していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	服薬のやり方や注意点などはミーティング時に確認しミスの無い様に行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	保護者からお話があったお子さんに対してアレルギー対応（除去や代替え）をしているが医師の指示票はない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	3	年単位で車両やおもちゃの点検の月の計画を作り、点検や研修を実施している。	各月の職員の点検に対する動きを確認し安全管理を徹底していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0	面談時におもちゃの誤飲やお昼寝の際の呼吸の確認などの説明を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	毎月ヒヤリハットのまとめ会議を行い、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止委員会を作り会議を行い、講師を呼び研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	個別支援計画の説明時にやむを得ないの身体拘束の説明を行い同意をもらっている。		